



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 東大

上場会社名 ハリマ化成株式会社

コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 金城 照夫

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

平成22年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	20,050	29.9	1,157	117.3	1,156	89.4	443	92.2
22年3月期第2四半期	15,434	△21.0	532	△14.9	610	△3.8	230	△28.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	17.09	—
22年3月期第2四半期	8.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
23年3月期第2四半期	46,672		28,506	58.9			1,059.47	
22年3月期	45,939		28,316	59.4			1,051.45	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 27,493百万円 22年3月期 27,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年3月期	—	6.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	17.9	2,200	64.8	2,200	37.8	1,000	5.1	38.53

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名)、 除外 一社 (社名)

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 26,080,396株 22年3月期 26,080,396株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 130,529株 22年3月期 127,813株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 25,951,137株 22年3月期2Q 25,954,933株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
【第2四半期連結累計期間】.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新興国の経済成長や政府の景気刺激策に支えられ、緩やかな回復基調となりました。しかし、第2四半期後半は、円高の進行による企業業績の下振れ懸念や長びく雇用情勢の低迷など、依然として不透明感が払拭されない状況となっております。

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は200億5千万円となり、前年同期に比べ46億1千6百万円(29.9%)の増収となりました。

利益面では、原価低減や経費削減等による収益改善を最重要課題として取り組んでまいりました。

その結果、営業利益は11億5千7百万円で前年同期に比べ6億2千4百万円(117.3%)の増益となり、経常利益は11億5千6百万円で前年同期に比べ5億4千5百万円(89.4%)の増益となり、四半期純利益は4億4千3百万円で前年同期に比べ2億1千2百万円(92.2%)の増益となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次の通りであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用し、セグメントの区分を変更しております。この変更に伴い、セグメント別経営成績の前年同期比較については、新セグメントの区分に組替えて表示しております。

(樹脂化成品)

当第2四半期連結累計期間の塗料業界は、需要が着実に回復しておりますが、猛暑の影響で、需要が伸び悩む分野も見られました。

印刷インキ業界は、猛暑の影響で飲料容器用途のインキは好調でした。一方、商業印刷、新聞印刷は低調な状況であり、需要回復に至らず厳しい状況が続いております。

合成ゴム業界は好調に推移し、各社フル生産の状況でしたが、円高による影響もあり、先行き不透明な状況となりつつあります。

当部門の売上高は94億5千3百万円で、前年同期に比べ19億7千6百万円(26.4%)の増収となりました。経常利益は5億3千8百万円と前年同期に比べ3億3千4百万円(163.5%)の増益となりました。

(製紙用薬品)

当第2四半期連結累計期間における国内の紙・板紙出荷量は前年同期に比較して回復傾向にあります。段ボール原紙が増えましたが、チラシ、カタログなどの商業用印刷用紙の出荷量は前年同期を割り込む状況でした。国内の製紙業界はこれまで塗工紙の輸出量を増大してきましたが、急激な円高の影響と、アジア市場での価格下落の影響から減産を拡大し始めました。

このような環境下、当部門では製紙用薬品の拡販、収益改善に鋭意取り組みました。その結果、前年同期比で販売数量は増え、収益は若干上回る結果となりました。

当部門の売上高は62億7千6百万円で、前年同期に比べ9億9千5百万円(18.9%)の増収となりました。経常利益は3億7百万円と前年同期に比べ4千4百万円(17.0%)の増益となりました。

(電子材料)

当第2四半期連結累計期間の当部門が関連する自動車業界と電機業界の動向は、「エコカー補助金」及び「エコポイント延長」等による政府の景気刺激策が功を奏し、需要回復の兆しが見えてまいりました。しかし、自動車業界は、エコカー補助金の終了による今後の需要動向が不透明であることや、円高の影響により予断を許さない状況にあります。

このような環境下、当部門においては経費削減、収益改善に取り組み、増収増益となりました。

当部門の売上高は24億5百万円で、前年同期に比べ10億5千万円(77.6%)の増収となりました。経常利益は1億8千3百万円と前年同期に比べ1億8千3百万円の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前期末に比べ7億3千3百万円の増加となりました。自己資本比率は58.9%となりました。増減の主なもの、流動資産では売上高が増加したため受取手形及び売掛金が10億4千4百万円増加し、固定資産では連結子会社で本社移転用地を取得したことにより、土地が3億6千4百万円増加しております。流動負債では原材料仕入が増加したため支払手形及び買掛金が12億3千4百万円増加しており、借入金の返済に伴い短期借入金が4億5千7百万円減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、依然として先行き厳しい状況が見込まれます。

このような状況を踏まえ、当社が取り組む課題である生産の効率化、研究開発成果の商品化、グローバル展開などを感度良く、迅速に、着実に実施し、持続可能で強固な事業構造に変革いたします。

なお、当期（平成22年4月1日から平成23年3月31日）の通期の業績予想につきましては、平成22年11月1日発表「業績予想の修正に関するお知らせ」の公表数値を修正しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。

なおこれによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,551,481	3,306,465
受取手形及び売掛金	13,508,213	12,463,592
商品及び製品	2,161,098	1,824,746
原材料及び貯蔵品	2,852,075	3,269,301
その他	1,287,345	1,269,671
貸倒引当金	△44,924	△49,283
流動資産合計	23,315,291	22,084,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,964,654	5,104,748
土地	8,994,927	8,630,057
その他（純額）	3,241,705	3,515,642
有形固定資産合計	17,201,286	17,250,448
無形固定資産		
689,413	689,413	801,127
投資その他の資産		
投資有価証券	4,767,907	4,796,181
その他	712,471	1,021,063
貸倒引当金	△13,465	△13,465
投資その他の資産合計	5,466,913	5,803,779
固定資産合計	23,357,613	23,855,356
資産合計	46,672,904	45,939,850

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,720,658	4,486,083
短期借入金	6,096,725	6,553,747
1年内返済予定の長期借入金	566,803	659,939
未払法人税等	165,033	101,863
役員賞与引当金	33,480	29,470
その他	1,710,084	1,824,068
流動負債合計	14,292,786	13,655,172
固定負債		
長期借入金	978,854	1,143,913
退職給付引当金	697,413	665,524
役員退職慰労引当金	400,897	370,956
長期預り保証金	1,135,539	1,170,959
資産除去債務	44,541	—
その他	616,403	616,442
固定負債合計	3,873,649	3,967,796
負債合計	18,166,435	17,622,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	8,529,148	8,241,360
自己株式	△61,576	△60,216
株主資本合計	28,224,902	27,938,475
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,504	78,407
繰延ヘッジ損益	—	277
為替換算調整勘定	△749,198	△729,200
評価・換算差額等合計	△731,694	△650,515
少数株主持分	1,013,260	1,028,921
純資産合計	28,506,469	28,316,882
負債純資産合計	46,672,904	45,939,850

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	15,434,486	20,050,503
売上原価	11,725,090	15,349,347
売上総利益	3,709,396	4,701,156
販売費及び一般管理費	3,176,784	3,543,595
営業利益	532,612	1,157,560
営業外収益		
受取利息	15,610	21,081
受取配当金	19,182	28,947
不動産賃貸料	69,028	65,399
為替差益	44,728	—
その他	68,929	81,725
営業外収益合計	217,480	197,153
営業外費用		
支払利息	111,865	94,445
為替差損	—	50,178
その他	28,005	54,075
営業外費用合計	139,871	198,699
経常利益	610,221	1,156,014
特別利益		
投資有価証券売却益	—	16,275
事業譲渡益	20,000	—
特別利益合計	20,000	16,275
特別損失		
固定資産除却損	15,756	—
投資有価証券評価損	—	73,023
減損損失	18,245	—
ゴルフ会員権評価損	13,900	—
賃貸借契約解約損	—	133,956
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	29,722
その他	—	18,798
特別損失合計	47,901	255,501
税金等調整前四半期純利益	582,320	916,788
法人税、住民税及び事業税	86,253	158,946
法人税等調整額	279,163	280,932
法人税等合計	365,417	439,879
少数株主損益調整前四半期純利益	—	476,909
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△13,894	33,405
四半期純利益	230,797	443,503

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	582,320	916,788
減価償却費	813,198	821,411
減損損失	18,245	—
のれん償却額	10,017	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,284	△2,265
受取利息及び受取配当金	△34,793	△50,028
支払利息	111,865	94,445
為替差損益(△は益)	△18,556	11,757
持分法による投資損益(△は益)	△20,322	△7,381
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,088	△157
投資有価証券評価損益(△は益)	—	73,023
賃貸借契約解約損	—	133,956
事業譲渡損益(△は益)	△20,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	29,722
売上債権の増減額(△は増加)	△370,464	△1,111,215
たな卸資産の増減額(△は増加)	379,221	21,774
仕入債務の増減額(△は減少)	△491,640	1,276,337
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	4,010
その他	161,474	△193,913
小計	1,141,763	2,018,266
利息及び配当金の受取額	41,525	62,765
利息の支払額	△116,519	△115,605
法人税等の支払額	△62,954	△93,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,003,814	1,871,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△816,639	△713,527
有形固定資産の売却による収入	21,547	1,966
投資有価証券の取得による支出	△302,074	△310,412
投資有価証券の売却による収入	354,692	191,606
貸付けによる支出	△800	—
貸付金の回収による収入	10,582	875
事業譲渡による収入	20,000	—
その他	△36,135	△1,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△748,825	△830,671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△93,205	△306,380
長期借入れによる収入	311,531	137,040
長期借入金の返済による支出	△301,399	△359,884
配当金の支払額	△155,733	△155,715
少数株主への配当金の支払額	△35,671	△22,101
預り保証金の返還による支出	△27,188	△35,420
その他	△16,842	△22,167
財務活動によるキャッシュ・フロー	△318,509	△764,629
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,102	△31,458
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,417	245,146
現金及び現金同等物の期首残高	3,960,961	3,302,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,926,543	3,547,418

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	樹脂化成品 事業 (千円)	製紙用薬品 事業 (千円)	電子材料事 業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	8,559,377	5,394,920	1,346,580	133,608	15,434,486	—	15,434,486
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,559,377	5,394,920	1,346,580	133,608	15,434,486	—	15,434,486
営業利益(又は営業損失 △)	988,554	387,733	56,032	△14,056	1,418,265	(885,652)	532,612

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な事業名称

(1) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

(2) 各事業の主な製品

- ① 樹脂化成品事業……………塗料用樹脂・印刷インキ用樹脂・ツール油製品・合成ゴム乳化剤
- ② 製紙用薬品事業……………紙力増強剤・サイズ剤・表面塗工剤
- ③ 電子材料事業……………電子材料
- ④ その他事業……………不動産管理事業等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	南北 アメリカ (千円)	アジア (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	12,970,925	1,608,333	815,704	39,523	15,434,486	—	15,434,486
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	267,976	70,084	301,038	—	639,099	(639,099)	—
計	13,238,901	1,678,417	1,116,743	39,523	16,073,586	(639,099)	15,434,486
営業利益(又は営業損失 △)	1,323,637	△62,531	144,600	△12,385	1,393,321	(860,709)	532,612

(注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 南北アメリカ……………米国・ブラジル
- (2) アジア……………中国・マレーシア他
- (3) その他……………欧州他

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	南北アメリカ	アジア	その他	計
I 海外売上高(千円)	1,614,542	1,070,254	52,568	2,737,366
II 連結売上高(千円)				15,434,486
III 連結売上高に占める海外売 上高の割合(%)	10.5	6.9	0.3	17.7

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 南北アメリカ……………米国・ブラジル
- (2) アジア……………中国・マレーシア他
- (3) その他……………欧州他

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象になっているものであります。

当社は、経営環境の変化対応し、経営戦略の充実、業務の効率化を図ること等を目的として、本社に事業本部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。なお、「樹脂化成品事業」、「製紙用薬品事業」、「電子材料事業」を報告セグメントとしております。

「樹脂化成品事業」は塗料用樹脂、印刷インキ用樹脂、トール油製品、合成ゴム乳化剤の製造販売を行っております。「製紙用薬品事業」は紙力増強剤、サイズ剤、表面塗工剤の製造販売を行っております。「電子材料事業」は電子材料の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	9,453,471	6,276,649	2,405,172	18,135,293	1,939,835	20,075,129	△24,626	20,050,503
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	104,984	4,241	—	109,225	27,499	136,724	△136,724	—
計	9,558,456	6,280,890	2,405,172	18,244,519	1,967,334	20,211,854	△161,350	20,050,503
セグメント利益	538,653	307,229	183,952	1,029,835	20,031	1,049,866	106,148	1,156,014

(参考情報)

前第2四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報の事業区分を、新セグメントに組み替えると以下の通りとなります。

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	7,476,638	5,280,753	1,354,222	14,111,614	1,326,225	15,437,840	△3,353	15,434,486
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	105,846	604	—	106,451	69,719	176,170	△176,170	—
計	7,582,485	5,281,357	1,354,222	14,218,065	1,395,945	15,614,010	△179,523	15,434,486
セグメント利益	204,447	262,664	518	467,631	△101,569	366,061	244,159	610,221

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2)セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

平成23年3月期 第2四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	22/3期		23/3期	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(計画)
連結	6.5億円	15.4億円	7.9億円	18.0億円

2. 減価償却実施額

	22/3期		23/3期	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(計画)
連結	8.1億円	16.7億円	8.2億円	17.0億円

3. セグメント別売上高

	22/3期		23/3期	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	74.7億円	160.8億円	94.5億円	188.0億円
製紙用薬品	52.8億円	109.9億円	62.7億円	125.0億円
電子材料	13.5億円	37.5億円	24.0億円	48.0億円
その他	13.2億円	26.6億円	19.3億円	35.0億円

※22/3期は、新セグメント区分に組み替えております。